

## 《3月定例会》

2月21日から3月18日までの26日間にわたって定例議会が開かれ、市長から提出された議案24件を審議し、いずれも原案のとおり同意・可決しました。

## 一般会計予算

31年度一般会計予算は、141億3千万円で前年度比、1.8%の減となりました。

### 《平成31年度の主な事業》

- ★白岡中学校周辺区域の土地利用推進
- ★白岡宮代線のオーバブリッジの橋脚工事
- ★篠津第三児童クラブを新設
- ★国保保険者の特定健診の自己負担無料
- ★市役所と白岡東小学校にマンホールトイレを設置
- ★小・中学校のエアコン本格稼働
- ★菁莪地域に学校運営協議会を設置
- ★シニア世代の地域デビューを促進
- ★地域ガール体験事業
- ★白岡こども会議
- ★ゆめまつり実行隊事業

**問** 市長は、「さいかん 歳寒の松柏しょうはく」論語の言葉を使い状況や方針を説明して、本予算を編成したと述べた。では、このてがしわ 困苦とは、市政のどんな状況を指し、松やこのてがしわ 兎手柏は誰なのか。さらに、具体的に予算のどこにそれを踏まえて編成しているのか。

**答** 当初予算編成は、厳しい財政状況を踏まえ、限られた財源を効果的に配分した。事業の選択と集中を図ることで、白岡中学校周辺区域の土地利用の推進や、都市計画道路の整備推進、学童保育所の新設などの予算を確保し、行政サービスや住民福祉の向上に努めた。

**問** 県補助金の、ふるさと創造資金の充当事業は何か。

## 平成31年度予算



# 「住んでみたい」

# 白岡中学校周

**答** 大山・菁莪地域活性化推進事業などである。

**問** 大山・菁莪地域活性化推進事業の白岡美人プロジェクトの推進に当たり、JA、生産者、梨部会などとの連携は。

**答** 白岡美人プロジェクトは、30年度は2回のキックオフ後援会を開催した。31年度からは、今村まゆみ氏(総務省地域力創造アドバイザー)にアドバイスをいただきながら、生産者、市民、白岡元気プロジェクトの学生および市が一丸となって、オール白岡の体制で取り組んでいく。



**問** 旧庁舎の跡地利用について、駐車場としての、暫定利用後の利用計画はあるのか。

**答** 当面は、駐車場として暫定利用を図る。その後の計画は未定である。

**問** 子どもの学習支援事業について、外国人を含めた小学生まで拡大する考えはあるか。

**答** 早期からの取組は有効と認識している。国や県の制度改正などの内容を注視していきたい。